

大阪府大東市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

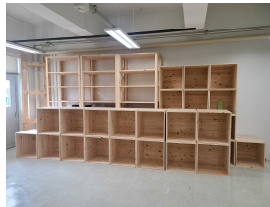
区分	令和元年度～ 令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	28,461,222	3,885,920	32,347,142	約50%	後年度における森林の整備及びその促進に関する施策に活用する。
譲与額（円）	50,848,000	13,956,000	64,804,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	危険木等伐採等	2,202,920	2,202,920	継続的に実施している道沿いの危険木の伐採を実施した。
木材利用	木造公共建築物の整備等	1,683,000	1,683,000	歴史とスポーツふれあいセンターに木材（大阪府産材）を利用した棚・木箱・掲示板を設置した。
	基金積立	10,085,404	10,070,080	大東市森林環境譲与税基金



危険木等伐採の様子



歴史とスポーツふれあいセンターに設置した棚・木箱・掲示板

■本市の森林の概要等

- 市街化区域が隣接していることから、林業的な位置付けが難しく、市民の緑地としての役割が高くなっている。
- 野崎観音、飯盛山などの歴史的、文化的資源も数多く点在しており、特に飯盛山の山頂には、中世の山城跡「飯盛城跡」があり、貴重な歴史遺産が残存している。
- 以上から、この地域を、郷土の森林として身近に歴史や文化に接することができるようにし、市民の共有財産としての公益的機能の向上を図っていく。